夢人里　宮小だより

「かがやく瞳とあふれる笑顔の宮小っ子」

令和５年１２月１日(金)　発行者：富岡市立一ノ宮小学校長　稲川　修

周りに配慮しながら生活する人に～人権月間の講話「見方をかえよう」より～

１１月８日から１か月間、人権について学ぶ人権集中学習が行われています。集中学習の始まりにあたり、校長から次のような話をしました。

「今日は『自分の見方や考え方を見直そう』というお話です(略)。２０年以上前に、ある１枚の写真から見方が変わった経験があるので、それを紹介しようと思います。この写真です(図１)。親子と看護師さんですが、何をしているところでしょう（略)。看護師さんはなぜこのような支度をしているのでしょう。この子供とお母さんはある感染症にかかっています。でも、その病気は、コロナと違って、感染力は弱く、普通に生活したのでは感染しません。話をしたり、手を触ったり、一緒に食事をしたり、遊んだり、全く感染しないのです。だから、看護師さんはこんな支度をしなくても、感染する心配は全くないのです。では、なぜ看護師さんは、帽子にマスク、手袋、フェイスマスク、防護服を身に付けているのでしょう。私は、この写真を見たときに、感染しないとわかっていても、新しいウィルスだから、万が一でも自分がウィルスにうつらないために、このような支度をしているのだと思いました。でも、それは違っていました。この親子の病気は、どんな弱いウィルスでも、体に入ってきてしまうと命を落とす危険性があるのです。健康な人でもウィルスが体の中にいる可能性があります。この看護師さんは、自分がこの親子に感染させないためにこのような支度をしていたのです。私ははっとしました。この看護師さんの想いは自分と全く逆だったのです。この経験をしてからは、毎日の生活の中で、自分と考えが違う人に対して、もしかしたら、その人には何か違う想いや理由があるのかも知れないと思うようになりました。

ちょっと違った見方をすると、友達との接し方も変わるかもしれません。見方を変えると、相手の立場にたって考えられることもあるかもしれません。自分の見方や考え方をちょっと変えてみることや、「差別やいじめ」についてこの１か月間考えてほしいと思います。(略)。」

自分の意見を表現することは大切ですが、同時に、周りに配慮しながら生活できる大人に成長してほしいと考えています。学校では授業や日常的な生活の場面で支援していますので、ご家庭でも、お子さんと一緒に人権について考えてみていただきたいと思います。

看護師と親子の写真(図1)

(写真はイメージで当時のものとは違います)

人権講話その２

十一月十五日の朝行事は、市人権擁護委員七名の方をお招きし、人権講話を行いました。紙芝居形式でいじめをテーマとした内容でしたので、子供たちは集中して聴き、剣道終了後、感想を発表しました。

廃品回収お世話になりました

十一月十八日(土)に廃品回収を行いました。多くの方に協力をいただき、ありがとうございました。収益金は子供たちの学校生活に役立てます。

11月のイベントから

児童の活動の様子をホームページでご覧ください。学校便りのカラー版もご覧いただけます。

岩井建設見学１年生

町探検２年生

消防署見学３年生

座繰り体験４年生

音楽集会５年生発表

朝読書読み聞かせ

買い物体験ゆめそら組

持久走大会

修学旅行に行ってきました　～足利・日光方面～

（一日目）十一月一日（水）天気に恵まれ、足利学校、東武ワールドスクエアを見学しました。

足利学校

昼食はカレー

班別学習（東武）

東武ワールドスクエア１組

東武ワールドスクエア２組

部屋にて

夕食

班別学習（日光）

（二日目）十一月二日（木）日光でグループ学習し、中禅寺湖の遊覧船に乗り、紅葉を堪能しました。

日光東照宮

中禅寺湖

授業参観・懇談会お世話になりました

十一月十七日の五時間目に授業参観を行いました。たくさんの保護者の方にお越しいただきありがとうございました。子供たちの励みになりました。また、参観後の懇談会では、貴重な情報交換にもご協力いただきありがとうございました。

避難訓練

11月28日の避難訓練は、予告なしで休み時間に行いました。高学年の子供が低学年の子供に声をかける様子が見られました。スクールガードリーダーから素早い動きと助け合って避難する様子についてお褒めの言葉をいただきました。

「命を育む講座」を行いました

十一月二十九日の午後、講師をお招きし、四～六年生の児童と保護者を対象に「命を育む講座」を開催しました。妊婦の方の心音を実際に聞いたり、模型を抱っこしたりする体験を通して、命の神秘さやかけがえのなさについて学びました。